

* * ワンポイントアドバイス * *

シクラメン

冬から春にかけてシクラメンがにぎやかに咲き抜けます。ところがちょっと気難しいところもありますので、うっかりすると途中でためにしてしまうことがあります。

上手な管理の仕方についてお話をします。

1. シクラメンはあまり高い温度を好みません。日中の最高温度20度、夜の最低温度7~8度程度の範囲で育てます。20度以上の高温になると姿が乱れたり花もちが悪くなります。夜から朝方にかけての最低温度が10度~12度に保つことができれば理想的です。
2. 特に気をつけたいのは、昼と夜の温度差です。なるべく10度以内におさえたいものです。それ以上の温度差がると弱ってきます。
* そのため、最高・最低温度計を用意するといいでしょう。
3. 冬は室内の空気が乾きます。湿度不足でつまみが乾いて枯れてしまいます。
夜ビニール袋をすっぽりかぶせておくと湿度を保つことができます。
4. 水やりのこと。
水やりの失敗は与え過ぎのことが多いようです。毎日たっぷりとやっていると根が腐ってしまいます。鉢土の表面が白く乾いたら鉢底から流れるくらいたっぷりとやります。あとは乾くまでやりません。
水は午前中にやります。夕方乾いていることに気が付いても翌朝まで待ってやります。
ただ、すっかり乾かしてしまうと休眠しますから気をつけましょう。
水やりのとき、頭の上からやってはいけません。球根の頭をぬらすとこれから伸びて咲くつぼみが腐ってしまいます。葉をよけて土にやります。
5. つぎつぎと花を咲かせますので、1週間にごとに水で薄めた肥料をやります。固形の肥料を土にうめこんで置いてもいいでしょう。
6. シクラメンは日光が好きです。日当りが悪いと花が咲かなくなります。日当りのいい場所におきましょう。
7. 室内では葉にはこりがたまります。時々こりを拭き取ってやりましょう。
8. 花が咲き終わったら茎、枯れた葉はその都度とってやります。茎をねじるようにしながら引っ張ると取れてきます。

アザレヤ

アザレヤは冬の鉢花として親しまれています。アザレヤは昔、日本と中国からツツジ、サツキの仲間がヨーロッパに伝えられ改良されてきたものです。

耐寒性がないので北海道では外で冬を越すことはできません。

これから園芸店にたくさん出まわりますし、いろいろな花色、花形を楽しむことができます。
室内で長く楽しむための管理についてお話をします。

1. 園芸店でアザレヤの鉢を求めるときは、葉が緑色で、花の下に葉がたくさんついているものを選びます。又、つまみがたくさんついていて、そのうち3分の1くらいが咲いているものが多いでしょう。
2. アザレヤは耐寒性がないといても、あまり高い温度は好みません。15度前後のところでゆっくり咲かせると花もちがいいのです。低温には割合強く1度ぐらいうの温度になってしまいよいよです。
3. 花が咲いているときは大層水を吸います。鉢土の表面が乾いたらたっぷりと鉢底から流れ出るくらいやります。でも鉢皿に水をためたままにしておいてはいけません。根ぐされのものになります。
4. 冬の室内は空気が乾燥しています。そのためつまみが乾いて落ちてしまうことがあります
1日に2~3回霧水を葉にかけてやるといいでしょう。夜はビニールのトトロをすっぽりとかぶせておくと保湿がいいようです。
ストーブの近くに置くのは空気の乾燥が激しいので厳禁です。
5. 置き場所は日当りのいい所が元気に育ちます。
6. 花が咲き終わるごとに花の元についている実を取ってください。実を付けたままにしておくと栄養がとられて育ちが悪くなります。
7. 花がすっかり終わったら水やりを少し控え目にします。5月中旬ころ植え替えてやると来年またたくさんの花を咲かせてくれます。古土を3分の2くらい落とし、鹿沼土、腐葉土を6:4ませた新しい土で植え替えてやりましょう。そのとき枝の3分の1くらい刈りこんでやるといいでしょう。6月~8月の間肥料をやって育てます。



Kikyou